



①炭窯の見学（参加者は窯の中に入り体感）。②炭窯の口の封鎖作業光景。このあと火入れをします。③焼かれた炭の光景。④⑤みんなでバーベキューを楽しみました。⑥炭で焼くと一味違います。⑦愛炭企業組合の大木さんと武藤さんに、炭焼きの課題とこれからの夢をうかがいました。

参加者 レポート

私の大学での専門分野は「観光・まちづくり」です。内子町と言えば近年注目されている観光地ですし、代々受継がれている「内子炭」の技術は内子地域の魅力なので、私にピッタリな授業と思いました。

炭焼きを体験することはできませんでしたが、普段では見かけることもない土づくりの窯に、直接触れたり中を覗き込んだりすることができ、非常に貴重な体験でした。また、「内子炭」を見せて頂いたのですが、表面の割れ目が菊型のように大変美しく、生まれて初めて炭に芸術的美しさを感じました。茶道には日本の文化が多数詰まっていて、お茶を楽しみながら日本の四季も楽しむことができるそうです。

日本の古くから残る技術はやはり美しく、自然との共存が可能な方法の一つではないかと強く感じました。また地域の魅力・文化を守っていく大切さを改めて確認できました。

【報告：玉里社司】



日本文化を支える「茶道炭」の世界



2013.03.20：授業日
武藤浩次（愛炭企業組合）：先生
宮本幹江&山田一茂：授業コーディネーター
：COP10 愛知ターゲット

かつて炭は、家庭の燃料として身近な存在でした。しかし現在では、暮らしのスタイルが一変し、家庭用燃料としての用途はほとんどなくなり、除湿・消臭を目的に使うことも増えていきます。そういうなかで、内子町の石畳地区では、茶席でお湯をわかす時に使う「茶道炭」が焼かれています。1970年代、このような日本の伝統文化に寄り添うことで炭焼きの技を伝えるという選択をしたのですが、そもそもこの地は大洲藩の政策でクヌギの植林が奨励され、



1ターンで6年ほど前に関東からやってきた武藤さん。冬から春にかけての炭焼きシーズンには毎日、顔を真っ黒にしがばっています。

「伊予の切り炭」の産地として全国的に有名でした。授業では愛炭企業組合の大木さんと、若き炭焼き職人の武藤さんにお世話になり、炭窯の中に案内してもらったり、原木の準備から火入れ後の炭窯の管理、茶道炭に仕上げる技などもうかがいました。午後には、地元産の食材を炭バーベキューで味わい、過疎化する中山間地と炭焼き業の関連、窯の製作や炭焼き技術の継承、豊富な木質バイオマスの活かし方など、大いに議論することになりました。

茶道炭って何？

「炭」は知っているけど、「茶道炭」って何？ という人は少ないと思います。茶席で使う炭と普通の炭とは何が違うのでしょうか。

茶道ではお湯をわかすときに炭火を用います。そして、一連の所作の中に「炭点前」があり、炭が燃え尽きた後の形も鑑賞の対象になるそうです。灰になるまでの時間も流派によって決まっていて、このため、流派ごとにお湯をわかす炭の直径や長さも異なっています。日本文化を支える「茶道炭」、すごいですね。





①明浜町の石灰岩を自らの酸で溶かして穴を空け棲むウドガイ。酒蒸しとみそ汁で食べました。②約4億2千万年前の地層が地殻変動で直立した三瓶町の須崎海岸。③宇和町の町並み。④宇和町の笠置峠古墳。⑤宇和町の全国名水百選に指定されている観音水。⑥座学の様子。

参加者 レポート

午前中は、愛媛県歴史文化博物館へ。専門学芸員の大本さんに館内案内、次いで「自然と文化を考える」というテーマで宇和の自然と文化・歴史を解説して頂きました。初めて見聞することばかりで、皆さんと一緒に懸命に写真やメモ……、「ジオガイドになるには、知識もさることながらたくさんの引き出しが必要だなあ」と感じました。

午後は、石灰岩層を通して毎日8000トン湧き出るといわれる観音水を見学した後、4つのグループに分かれガイド実習となりました。私も声をかけて頂き、見学した自然や暮らしについて話し合い発表に参加しました。寸劇風や掛け合い漫才風ガイド(失礼!)ありで、盛り上がりました。私も観光客の立場から少しお話しすることができました。

自然や人の暮らしを一緒に考え、表現する教室に参加し、様々な感じ方、見方、伝え方が分かってきます。新しい知識に加え、地域づくりにも触れることができた授業でした。(5/11の授業より)

[報告: 内子町 A.Y.]



「四国西予ジオパーク構想」応援隊

2013.02.02 ~ 2013.07.27 (全24回): 授業日
高橋 司(西予市ジオパーク推進室) ほか: 先生
山田一茂 & 宮本幹江: 授業コーディネーター



: COP10 愛知ターゲット

大地の生い立ちをはじめ、海や山、森、川などの自然、先人たちが育んだ文化までを丸ごと感じるこ
とができる「大地の公園」がジオパークです。
西予市ではいま、「四国西予ジオパーク構想」に基づいて、さまざまな自然と民俗の再発見や学習に努めていきます。さらにそれらを、西予市を訪れる人や次世代を担う子どもたちに、楽しくわかりやすく伝えるためのジオパークガイドの養成も行っています。
この授業では、西予市を訪れる人の立場で、ジオパークガイド養成講座のみなさん同行して、自然



西予市城川町の岩上田。チャートの岩のわずかなくぼみを利用して稲が植えられていることに、昔の人の暮らしと想像ができます。

ジオパークの3つの構造

ジオパークは、Rock (ロック)、Green (グリーン)、Café (カフェ) の3層構造になっているとされます。「Rock (基層)」は、ジオパークの基盤となる岩石、地層、地形や河川を指します。「Green (第2層)」は、Rockの上で生活している動植物を指し、里山や農地なども含みます。「Café (第3層)」は、さらにGreenを土台にしながら生まれる食、歴史、文化、芸術、町並みなどの人間の諸活動の成果ははじめ、知的な活動やレジャー、レクリエーション活動も含まれます。ジオパークはこの3つを結び付けて、誇りを持って守り未来に伝えていこうと、10年ほど前にドイツで生まれました。



と民俗を学びつつ、ガイド養成をお手伝いしました。
北部宇和海の「石灰岩と人々の暮らし」「三瓶湾と須崎海岸」、肱川上流の「宇和盆地」、肱川支流の「黒瀬川」、四国カルストの「大野ヶ原の暮らしとブナ」についてのガイド養成講座(座学)は里海、里地、里山の自然と民俗を学ぶ絶好の機会になりました。



正月かざり作り ～生きもののつながりを考えよう～



2012.12.01：授業日

松井宏光（松山東雲短期大学教授）：先生

内田年泰：授業コーディネーター

 ：COP10 愛知ターゲット



米収穫後の副産物である稲ワラを無駄なく有効利用してきた歴史は、稲作をする国にはどこでもあります。ですが、昨今、ワラを使うこと自体が少なくなり、またコンバインの収穫の場合、ワラが切り刻まれることもあり、伝統的なワラ文化が衰退してきました。そこで今回の授業は、稲ワラを使った道具や使われ方



①②みんなで正月かざりを作りました。③松井先生が稲ワラの利用法をたずねます。

里山の生物多様性の話を聞き、島の年配の方から正月かざりの作り方を伝授していただきました。それは同時に、高齢者から子どもへ、自然の恵みである「ワラ細工」を伝承する試みでもありました。

田んぼがない！

上島町の岩城島と弓削島のみなさんに集

まってもらったワークショップ

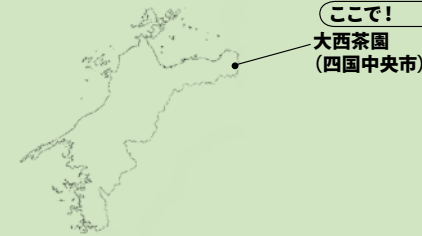
でした。ところが、話を進めているなかで、実は弓削島には田んぼがないことがわかりました。カエルを見たことのない子どももいて、「これじゃあ、大人でも縄をなうことはできないね」。



参加者 レポート

自己紹介、手を叩いて回していくゲームをしたあと、ワラを使って作ったものを挙げていきました。箕や草履、雨が当たらないようにする「野菜の屋根」や「肥料」、みかんを入れる袋「いぐり」というものも挙がりました。

3人の島の年輩の方に教わるしめ縄づくりでは、縄をなうことが子どもどころか大人にもできない人が多く、でも指導していただいた方々と子どもたちの微笑ましい交流も多数見られました。 [報告：T.U]



夏も近づく♪ 新宮茶摘み体験



2013.05.11：授業日

大西敬志郎（大西茶園）：先生

二宮那弥&内藤正人：授業コーディネーター

  ：COP10 愛知ターゲット

5月初旬、四国中央市新宮町では、新茶の茶摘みが真っ盛り。そんな繁忙期に、大西茶園の製茶工場を案内してもらい、そのあと実際にお茶摘みを体験させていただくという授業を行いました。

新宮町はお茶が育つための自然環境に恵まれており、冬が寒く越冬できる害虫が少なく、上に、越冬した害虫もクモ



①茶葉の摘み方を教えてもらっています。②「霧の森」の異名にふさわしい景色がこの日も！③製茶工場を見学させていただきました。

参加者 レポート

新宮茶は化学肥料を使用せず害虫は山にいる蜘蛛や蜂が退治し、恵まれた自然循環の中で育てられている等のお話を聴きながらお茶摘みを楽しみました。腰に付けた茶摘み籠が新芽の茶葉でいっぱいになった時、とても嬉しくなりました。豊かな自然に囲まれた新宮はとっても魅力的な所で、より身近により奥深く感じました。「霧の森」がピッタリな天候の下、豊かな自然の恵みや人との繋がりに心より感謝します。

[報告：高橋しづり]

お茶（緑茶）の種類

国内で生産されているお茶は、ほとんどすべてが緑茶です。その緑茶の栽培方法や摘採時期、製造工程の違いによって、煎茶・抹茶・番茶など、さまざまな種類のお茶になります。元になるお茶は同じなのです。





花とハーブとの素敵な関係

2013.02.24.: 授業日

宮岡美由紀 (ハーブ&フラワーコーディネーター): 先生
二宮那弥&内藤正人: 授業コーディネーター



: COP10 愛知ターゲット

道すがら四季折々に咲く花に心癒されたり、大切な人に想いを伝えたり、花は人間の生活において今や欠かせない存在になっています。
その花にもっと親しみ、快適で健康的な暮らしをしていただきたいという願いから、フラワーアレンジメント教室などを運営されている「花と香りの教室ブルーム」さんに、身近な生物多様性を実感できる授業ということでお願いしました。



①春の花で花ご風の花アレンジに挑戦。②明るい日差しに映える素敵な作品が出来上がりました。③好きなハーブや香りを選んで手ごね石けんも作りました!

もっと切り花を!

平成 21 (2009) 年の総務省統計局のデータによると、「切り花」購入の年間支出金額で、わが愛媛県は1世帯当たり 5,488 円と、47 都道府県中 46 位。ちなみに1位は和歌山県 (16,759 円)。愛媛の男性諸君、もっと花束を女性に贈りませんか?



参加者レポート

今日は、いよこころザシ大学さんが県から委託を受けている生物多様性の授業をさせていただきました。私がお伝えしたのは、一言でいうと植物からの恵みです。

- 1部は、春色のフラワーアレンジ。バスソルト作りやハーブティーも楽しみました。
- そして、2部はハーブの手ごね石けん作り。みなさまとも楽しく交流させていただき、ヒトとヒトとのつながりも感じた有意義な一日となりました。 [報告:宮岡美由紀]



バラにも心がある ～自然界のすべてはつながっている～

2012.10.21: 授業日

岡野ゆき (「ベル・ローズ」バラ園): 先生
二宮那弥&内藤正人: 授業コーディネーター



: COP10 愛知ターゲット



自然環境に恵まれ、バラの栽培に適していることから、いくつものバラ園がある西条市丹原町。そのなかで農業を最低限に抑え、霊峰石鎚の地下水を用いてバラを育てている、岡野ゆきさんの「ベル・ローズ」バラ園内で授業をさせていただきました。
身近な「花(バラ)」をテーマに、ハウスの見学も行いな



がら、生物多様性の恵みや保全について考える授業になりました。

①ハウス内は 24 時間、クラシック音楽が流れています。②栽培の現場も見学しました。③お話し「ベル・ローズ」のハウスの中で。

参加者レポート

この授業では、一輪のバラを通じて、たくさんの学びや気づきを促していただきました。「生物多様性」という愛媛県が推進しているワードは初めて耳にしましたが、結局は自分自身も含め、周りをすべて慈しむ、愛を持って接するということではないかと解釈しました。

ハウスの中だけでなく、周りの環境までもが自然や生物の恩恵や命のつながりを感じるには絶好の場所だったように思います。

[報告:長谷部真実]

バラも同じ?

「ベル・ローズ」では美しい音楽や声掛けから発する波動(エネルギー)を与えてバラを育てています。人間にとってやさしい言葉は、植物や動物にも、同じように「心地よい」ものと感じられたとしても、ごく自然なことではないでしょうか。





ここで！
八幡浜市
*授業は松山市の
「和光会館」で



今年のX'masはみかんツリー

2012.12.22 / 2012.12.24：授業日
八幡浜市みかん課：先生
宮本幹江 & 山田一茂：授業コーディネーター
：COP10 愛知ターゲット

愛媛県、特に八幡浜市はみかんの大産地です。「八幡浜市みかん課」（農林課）では、数年前からクリスマスの前に、温州みかんを利用した「みかんツリー」を作って、八幡浜市役所はじめ市内の主要な場所に設置しています。

授業では、愛媛の温州みかんと私たちの暮らしのつながりを学ぶとともに、愛媛みかんの新しい楽しみ方として、2回にわたってみかんツリー作りを体験。個人用の小ツリーのほか、当大学のある和光会館にみんなで大きなツリーを飾りました。温かいオレンジの灯りが心も温めてくれ、愛媛ならではのクリスマス風景として定着しそうです。



①大きなツリーに飾り付け。②③ミニみかんツリー製作中。

みかんツリーの作り方

材料は小さなサイズの温州みかん。カッターでヘタをカットし、皮に十文字に切れ目を入れて（へその部分はくっつけておく）、中身を食べます。瞬間接着剤で皮を丸く貼り合わせ、中に乾燥剤を注入（右写真）。密閉容器で保管し、皮がカラカラに乾いたら、ライトの中に入れ、ツリーのオーナメントに！



参加者レポート

- 「10、9、8、・・・」みかんツリー点灯までのカウントダウンに参加者の声が響きます。クリスマスツリーにみかんの光が灯る「みかんツリー」は八幡浜はもちろん、東京や道後温泉前にも飾られているとのこと。
- 地元の素材を使った手作りのツリーは、大人も子どもの心も温かくさせてくれます。今年、ミニツリーを真ん中にした我が家のイブの食卓は、味わい深いものとなりました。（12/24の授業より）

【報告：大田美香】



ここで！
えひめ森林公園
（伊予市）



森で作る幸せいっぱいのリース

2012.12.16：授業日
池田 暢（えひめ森林公園 前園長）：先生
二宮那弥 & 内藤正人：授業コーディネーター
：COP10 愛知ターゲット

クリスマスが近づくと見かけるようになるクリスマスリース。その素材ってどこに行けばあるのだろう？という思いから授業に発展しました。教室は自然いっぱいの中にある「えひめ森林公園」管理棟です。まずは、近隣の林へ素材探しに入って行くところ

からスタート。実はリースの素材は意外にも身近なところにあったのです。お気に入りのものを自分で手に入れ、100%オリジナルのリースが完成。この時期にはたくさんさんの森の恵みがあり、木の实もいただきました。



①先生に教わりながら製作開始！②森のめぐみを見つけました。③素材を探しに山へ！

参加者レポート

- まずは素材を探しに歩いてすぐの山に。よく見るとリースの素材であるつるがたくさん木に絡まっています。こんなに簡単に手に入るなんて驚きです。池田先生の熱心なご指導で、思っていたより簡単にオリジナルのリースが完成しました。子供たちも真剣な眼差しでした。フユイチゴ、シイの実もいただきましたが、どれもおいしくて驚きました。自然にあふれた場所で自然に触れて充実した一日でした。

【報告：まますん。】

ドングリ

ドングリは、クヌギ・カシ・ナラなど木の実の総称で、その形もさまざまです。殻斗と呼ばれる帽子をかぶっていたり、丸かったり、細長かったり。あなたが想像するドングリは何の木の実でしょうか？



開催月日	授業名	先生	開催地	掲載 page
24 日	城山センス・オブ・ワンダーランド	菊間裕子	松山市	
24 日	クリスマスオレンジを好きなあのの人に	八幡浜市みかん課	松山市	
24 日	今年のX'mas はみかんツリー (2)	八幡浜市みかん課	松山市	8 5
26 日	東温市生物多様性ワークショップ	松井宏光	東温市	2 3

●平成25年（2013）

1	05 日	えひめ人と生きものネットワークワークショップ	自然保護課	松山市	
	12 日	漁夫の利！魚料理教室	遠藤勝志	松山市	7 1
	19 日	チリメンモンスターを探せ in 椿小学校	清水孝昭	松山市	0 6
	19 日	八幡浜みかん《さわみ》カフェ	浜田善純	松山市	
	19 日	「自然が美しい町玉川」で冬の野鳥を観察しよう	山本貴仁	今治市	
	20 日	「生物多様性の島」大三島自然観察会	山本栄治	今治市	2 0
	20 日	松前町生物多様性ワークショップ	日鷹一雅	松前町	
	22 日	生物多様性ワークショップ in 大島・宮窪漁協 (2)	日鷹一雅	今治市	4 8
	27 日	きっと気になる木の話！	高橋照国	松山市	5 0
	29 日	西条市生物多様性ワークショップ	日鷹一雅	西条市	

2	02 日	四国西予ジオガイド応援隊「北部宇和海・明浜エリア」(1)	高橋 司ほか	西予市	7 8
	02 日	四国西予ジオガイド応援隊「北部宇和海・明浜エリア」(2)	高橋 司ほか	西予市	7 8
	03 日	日本野鳥の会愛媛と松山城山バードウォッチング	秋山 勉	松山市	0 8
	04 日	生物多様性を広めるためのソーシャルメディア活用講座 (1)	松本英次	松山市	
	04 日	生物多様性を広めるためのソーシャルメディア活用講座 (2)	松本英次	松山市	
	04 日	生物多様性を広めるためのソーシャルメディア活用講座 (3)	松本英次	松山市	
	06 日	さつえい日和 @ 松山総合公園～スマートフォン・携帯カメラ編～	重岡真美	松山市	1 2
	06 日	さつえい日和 @ 松山総合公園～コンパクトデジカメ・一眼編～	重岡真美	松山市	1 2
	09 日	雪の石鎚の森を歩く！	今川義康	西条市	1 0
	09 日	若者が語る！身近な生物多様性って？？？	後藤なな	松山市	
	10 日	肱川の鳥に会いにいこう！	瀧野隆志	大洲市	
	10 日	「夜」の干潟を歩く	山本貴仁	西条市	2 1
	10 日	日本野鳥の会愛媛と県運動公園バードウォッチング	丹下一彦	松山市	0 8
	13 日	お菓子な夜の調理室 #1「野菜 DE ブラウニー」	坂井善充	松山市	7 0
	13 日	森林教室 (1)「森のはなし」	谷 清	松野町	
	13 日	森林教室 (2)「ペンスタンド作り」	土井利彦	松野町	
	16 日	南予の「シカ」について学ぼう	宮本大右	八幡浜市	
	16 日	四国西予ジオガイド応援隊「北部宇和海・明浜エリア」(3)	高橋 司ほか	西予市	7 8
	16 日	四国西予ジオガイド応援隊「北部宇和海・明浜エリア」(4)	高橋 司ほか	西予市	7 8
	17 日	日本野鳥の会愛媛と瀬戸内東予の鳥を見る！	山本貴仁	西条市	0 8
	17 日	日本野鳥の会愛媛と石手川ダムバードウォッチング	丹下一彦	松山市	0 8
	18 日	環境・生物系研究技術開発公募事業への企画書作成ポイント	野内 勇	内子町	
	20 日	西条自然学校の『夜の学校 2』 寄生二枚貝のお話	山本貴仁	西条市	
	24 日	水族館のお仕事体験シリーズ 1：飼育の仕事「川のさかなを育てる」	おさかな館スタッフ	松野町	3 2
	24 日	花とハーブとの素敵な関係 (1) ～春色のフラワーアレンジ～	宮岡美由紀	松山市	8 3
	24 日	花とハーブとの素敵な関係 (2) ～ハーブの手ごね石けん作り～	宮岡美由紀	松山市	8 3
	24 日	西予市環境フォーラム	西予市環境衛生課	西予市	
	25 日	大三島の自然を守る会 生物多様性ワークショップ	小澤 潤	今治市	
	27 日	鬼北町愛治の自然と人々の暮らしワークショップ	土井利彦	鬼北町	

3	01 日	さつえい日和 @ 松山中央公園～スマートフォン・携帯カメラ編～	重岡真美	松山市	1 2
	02 日	西予でジビエ・シルブプレ！～イノシシ解体新書編～	舟本 健	西予市	6 2
	02 日	西予でジビエ・シルブプレ！～イノシシ料理編～	大氣新平	西予市	6 2
	02 日	わくわく樹拓ハイキング♪	保谷忠良	松山市	2 4
	02 日	木肌図鑑を作ろう♪	保谷忠良	松山市	2 4
	03 日	海のモンスターハンター！	佐野明子、渡部 幸	松山市	0 6
	03 日	宇和島駅から 2 キロ「生きもの調査」へ GO!	海田明裕	宇和島市	2 8
	07 日	愛媛みかん自慢大使になる！～愛媛かんきつニューフェイスで未来を拓く～	みかん研究所スタッフ	宇和島市	5 4
	08 日	いよいよ愛媛チーズ!? ～森のろまんカマンベール～	鈴永 寛	松山市	
	09 日	〈チリメンモンスター〉でお絵かき！ in 新居浜	渡部 幸	新居浜市	0 6
	09 日	タネであそぼう！ in 新居浜	渡部 幸	新居浜市	
	09 日	四国西予ジオガイド応援隊「北部宇和海・三瓶エリア」(1)	高橋 司ほか	西予市	7 8

2012-13「ワンダーエヒメ授業」一覧

公開型の授業についてはwww.1455634.jp に概要&レポートがありますので、ご覧ください。

開催月日	授業名	先生	開催地	掲載 page
●平成24年（2012）				

9	03 日	生物多様性えひめ戦略地域説明会 (中予)	日鷹一雅	松山市	
	06 日	生物多様性えひめ戦略地域説明会 (東予)	日鷹一雅	西条市	
	06 日	生物多様性えひめ戦略地域説明会 (今治)	日鷹一雅	今治市	
	07 日	生物多様性えひめ戦略地域説明会 (南予)	日鷹一雅	宇和島市	
	07 日	生物多様性えひめ戦略地域説明会 (八幡浜)	日鷹一雅	八幡浜市	
	21 日	生物多様性授業のためのファシリテーション講座	泉谷道子	松山市	
	22 日	日本の棚田百選で稲刈り体験	上岡満栄	内子町	4 2

10	06 日	がんばれ!ヤリタナゴくん!～松前町の絶滅危惧種～	松葉成生	松前町	3 5
	06 日	生命力～金山栄太ライブペインティング～	金山栄太	松前町	
	06 日	あ～おもしろい♪虫の声～秋の虫 声の聞き分け方講座～	今川義康	松前町	
	06 日	おいしい!ヘルシー!美しい!～今日から始めるステキ野菜生活～	青井悦美	松前町	5 8
	06 日	巨大折り紙パフォーマンス&みんなでカエルの泉作り	宮川 透	松前町	
	06 日	炭 (タン)・炭 (タン)・炭 (タン) ♪	鶴見恵子	松前町	
	06 日	ドングリの“勢”くらべ in えひめ	神野幸正	松前町	
	06 日	探検！ピオトーブ	平井 屯	松前町	
	06 日	Made in EHIME のアロマオイル	今村有佐	松前町	
	06 日	ネイチャーコラージュの贈りもの	西淵和美	松前町	
	06 日	オンリーワンに乾杯～内子・山ブドウとワイン～	藤淵利通	松前町	7 3
	06 日	チリメンモンスターを探せ in エミフル	清水孝昭	松前町	0 6

	16 日	えひめ人と生きものネットワークワークショップ (中予)	日鷹一雅	松山市	
	16 日	ワンダフル・エミフル		松山市	
	18 日	えひめ人と生きものネットワークワークショップ (南予)	日鷹一雅	宇和島市	
	21 日	バラにも心がある～自然界のすべてはつながっている～	岡野ゆき	西条市	8 2
	23 日	えひめ人と生きものネットワークワークショップ (東予)	日鷹一雅	西条市	
	28 日	内子の自然農園散策&「笑心 (えこころ) まつり」を楽しむ	和田満広	内子町	

11	03 日	カブトガニのカブちゃん (1)	河村一郎	西条市	3 0
	10 日	カブトガニのカブちゃんと干潟の仲間たち (2)	河村一郎	西条市	3 0
	10 日	森も溪谷もモミジ色！小田深山溪谷・秋のネイチャーハイキング	高本師津雄	内子町	1 6
	11 日	おとなの川遊び～瀬張りアユ漁～	福本 栄	内子町	7 2
	11 日	おとなの川遊び～肱川上流の地鮎を食す～	福本 栄	内子町	7 2
	21 日	西条自然学校の『夜の学校 1』 ツルのお話	山本貴仁	西条市	
	25 日	鴨 かも カモーン！	山本貴仁	西条市	
	27 日	生物多様性ワークショップ in 大島・宮窪漁協 (1)	日鷹一雅	今治市	4 8
	28 日	自然と共に生きる in 中川小学校	重川光正	西条市	
	29 日	砥部町生物多様性ワークショップ	日鷹一雅	砥部町	

12	01 日	初冬の肱川から四国を観る～Wonder River 肱川 (1) ～	松井康之	大洲市	1 8
	01 日	初冬の肱川から四国を観る～Wonder River 肱川 (2) ～	松井康之	大洲市	1 8
	01 日	正月かざり作り～生きものとのつながりを考えよう～	松井宏光	上島町	8 1
	02 日	古民家カフェで「稲わらリース」を作る	池田由紀	内子町	
	02 日	里山の恵み「内子夢わいん」ヌーボーを味わう	藤淵利通	内子町	7 3
	08 日	「ぬか味噌かおる」女になろう！	大氣洋子	西予市	
	08 日	内子町生物多様性ワークショップ	重川光正	内子町	
	09 日	久万高原町生物多様性ワークショップ	松井宏光	久万高原町	
	11 日	小田深山の暮らしの聞き取り	松井宏光	内子町	
	12 日	地元食材で作る愛 LOVE ビザパーティー	坂井善充	松山市	7 0
	14 日	西条市生物多様性ワークショップ	日鷹一雅	西条市	
	16 日	森で作る幸せいっぱいリース	池田 暢	伊予市	8 4
	19 日	森からのおくりもの	小澤 潤	今治市	
	22 日	今年のX'mas はみかんツリー (1)	八幡浜市みかん課	松山市	8 5
	22 日	はじめてのジビエ講座～イノシシ編～	舟本 健	松山市	6 2
	22 日	チリメンモンスターを探せ in クリスマス (1)	渡部 幸	松山市	0 6
	23 日	チリメンモンスターを探せ in クリスマス (2)	渡部 幸	松山市	0 6
	23 日	五十崎の匠に習う「伝統風づくり」	奥島重利	松山市	

「エミフル MASAKI」で開催

開催月日	授業名	先生	開催地	掲載 page
11 日	夏も近づく♪新宮茶摘み体験	大西敬志郎	四国中央市	8 0
11 日	四国西予ジオガイド応援隊「肱川上流域エリア」(5)	高橋 司ほか	西予市	7 8
11 日	四国西予ジオガイド応援隊「肱川上流域エリア」(6)	高橋 司ほか	西予市	7 8
12 日	進化した木登り！ツリークライミング®体験 (1)	小林 修	松山市	2 5
12 日	進化した木登り！ツリークライミング®体験 (2)	寺下太郎	松山市	2 5
13 日	「森のろまん」チーズ工房へようこそ！	鈴木 寛	西予市	6 4
15 日	ゆるゆる青空教室「はっば」～端午の節句の柏餅～	井上千春	松山市	1 4
18 日	あなたのとなりのホニユウ類～足あと・うんこ・食べあとを探せ！～	海田明裕	久万高原町	4 6
19 日	チリメン鬼（モン）スターを探そう (1)	松井留美	鬼北町	0 6
19 日	チリメン鬼（モン）スターを探そう (2)	松井康之	鬼北町	0 6
23 日	石鎚山系の人とけもの	山本貴仁	久万高原町	
24 日	クール＆ホットに！日本酒"SAKE"を楽しむ	亀岡晶子	松山市	
25 日	四国西予ジオガイド応援隊「黒瀬川エリア」(1)	高橋 司ほか	西予市	7 8
25 日	四国西予ジオガイド応援隊「黒瀬川エリア」(2)	高橋 司ほか	西予市	7 8
25 日	絹をつくりだす虫～カイコ～	池上正彦	新居浜市	
25 日	世界に1枚!! オリジナルはがきを作ろう	谷 順三	新居浜市	
25 日	木の実でつくる！どんぐりクラフト	神野幸正	新居浜市	
25 日	新宮茶の魅力とおいしい煎茶の淹れ方	石川安代	新居浜市	
25 日	グリーン×クール"my 苔玉"を作ろう	渡部千恵美	新居浜市	
25 日	イオンで樹木たんけん！	小林真吾	新居浜市	
26 日	いきもの立体おりがみに挑戦！	宮川 透	新居浜市	
26 日	四万十川新聞バッグで LET'S エコライフ！	和田尚子ほか	新居浜市	
26 日	チロリン♪ポロロン♪ハーブ教室	西川則孝	新居浜市	
26 日	世界の昆虫 愛媛のチョウ	大西 剛	新居浜市	
26 日	野菜でキラッと食育講座	中山加奈子	新居浜市	5 8
26 日	キラキラ水引でかわいいストラップを作ろう！	今村八千代	新居浜市	
01 日	自然を体感！さとやま探検隊〈シェアリングネイチャー〉	射手建雄	新居浜市	
02 日	みんなで伝えよう！水辺の生きものと環境	河野一男	西予市	
02 日	水族館のお仕事体験シリーズ3：調査の仕事「川の生き物を調べる」	おさかな館スタッフ	松野町	3 2
12 日	チリメンモンスターを探せ in 番町小学校	清水孝昭	松山市	0 6
14 日	四季を感じおいしくいただく！野菜のいけばな	青井悦美、颯香	松山市	5 8
15 日	四国西予ジオガイド応援隊「黒瀬川エリア」(3)	高橋 司ほか	西予市	7 8
15 日	四国西予ジオガイド応援隊「黒瀬川エリア」(4)	高橋 司ほか	西予市	7 8
16 日	自然農法の田んぼで田植え体験！	野満育朗	西条市	4 0
16 日	自然農法の田んぼで生きもの観察会	山本貴仁	西条市	4 0
17 日	「愛南〃びやびやかつお〃はなぜうまいのか」実体験講座	藤田知右	愛南町	5 6
18 日	海からワタシへの贈りもの ～シーボーンアート教室～	大石博美	愛南町	
19 日	ゆるゆる青空教室「アジサイ」～カタツムリとの不思議な関係～	井上千春	松山市	1 4
21 日	久万高原の人とさかな	清水孝昭	久万高原町	
22 日	天空の「千町棚田」で梅摘み体験～完熟の鶯宿梅を摘もう！～	山内昭英	西条市	3 8
22 日	天神公民館子ども教室「チリメンモンスターを探せ！」	松井康之	宇和島市	0 6
28 日	人と地球にやさしい食べもののお話	森 嘉代	松山市	
29 日	四国西予ジオガイド応援隊「黒瀬川エリア」(5)	高橋 司ほか	西予市	7 8
29 日	四国西予ジオガイド応援隊「黒瀬川エリア」(6)	高橋 司ほか	西予市	7 8
30 日	四国中央市 ロハス農園のサトウキビ	川上喜一郎	四国中央市	4 4
04 日	まほろしの後発酵茶！「天狗黒茶」の秘密	山之内良文	西条市	6 7
12 日	木のおもちゃを使った「木育（もくいく）」講座	水谷一美	松山市	
13 日	四国西予ジオガイド応援隊「四国カルストエリア」(1)	高橋 司ほか	西予市	7 8
13 日	四国西予ジオガイド応援隊「四国カルストエリア」(2)	高橋 司ほか	西予市	7 8
15 日	ゆらり川面から見る夏の肱川～ WONDER RIVER 肱川 (5) ～	松井康之	大洲市	1 8
17 日	ゆるゆる青空教室「ため池」～水面の向こうのアナザーワールド～	井上千春	松山市	1 4
27 日	四国西予ジオガイド応援隊「四国カルストエリア」(3)	高橋 司ほか	西予市	7 8
27 日	四国西予ジオガイド応援隊「四国カルストエリア」(4)	高橋 司ほか	西予市	7 8
27 日	夏休み「セミのぬけがら探偵団」	松田久司	西予市	
27 日	夜の生き物と脱皮観察会	矢野真志	久万高原町	

「イオンモール新居浜」で開催

開催月日	授業名	先生	開催地	掲載 page
09 日	四国西予ジオガイド応援隊「北部宇和海・三瓶エリア」(2)	高橋 司ほか	西予市	7 8
10 日	松山城～木の芽 きのままウォッチング～ (1)	保谷忠良	松山市	
10 日	松山城～木の芽 きのままウォッチング～ (2)「木の芽のひみつ」	保谷忠良	松山市	
10 日	なつかしいちご「宇和島レッドパール」見学会	梶原正充	宇和島市	
10 日	「レッドパール&春野菜」de 宇和島イタリアン lunch ！	梶原正充	宇和島市	
10 日	〈チリメンモンスター〉でお絵かき！ in 西条	渡部 幸	西条市	0 6
10 日	タネであそぼう！ in 西条	渡部 幸	西条市	
12 日	めざせアボカド日本一！	柴 竜己	松山市	5 1
13 日	宇和島生物多様性ワークショップ	日鷹一雅	宇和島市	
15 日	宇和島パール LESSON	土居一徳	松山市	5 5
16 日	早春のおたまじゃくし観察会	松田久司	内子町	
16 日	里山フラワートレッキング～春の妖精たちとの出会い～	小澤 潤	西条市	4 5
16 日	自然農法の田んぼで春の草花観察会	山本貴仁	西条市	4 0
17 日	あなたの知らない普通の鳥～久万高原の身近な鳥を知ろう！～	山本貴仁	久万高原町	
18 日	東芝ライテック 生物多様性ワークショップ	日鷹一雅	今治市	
20 日	木世界へ（きせかえ）～木工デザイン加工見学～	井上大輔	砥部町	
20 日	内子石畳「日本文化を支える茶道炭」の世界	武藤浩次	内子町	7 6
20 日	炭火バーベキューで内子の春を食べよう！	武藤浩次	内子町	7 6
20 日	西条自然学校の『夜の学校3』微小陸貝のお話	松田春菜	西条市	2 2
23 日	土の中の生きものたち in 新居浜市民の森 (1)	今川義康	新居浜市	
23 日	チリメンモンスター in エミフル MASAKI	渡部 幸	松前町	0 6
23 日	肱川♪春の自然観察会～ Wonder River 肱川 (3) ～	松井康之	大洲市	1 8
23 日	富士山から「肱川」の流れを観る～ Wonder River 肱川 (4) ～	松井康之	大洲市	1 8
23 日	いきもの立体おりがみに挑戦！ in エミフル MASAKI	宮川 透	松前町	
23 日	四国西予ジオガイド応援隊「北部宇和海・三瓶エリア」(3)	高橋 司ほか	西予市	7 8
23 日	四国西予ジオガイド応援隊「北部宇和海・三瓶エリア」(4)	高橋 司ほか	西予市	7 8
24 日	諏訪崎自然「看」察会～自然界から愛される人へ～	水本孝志	八幡浜市	2 7
24 日	漁師さんに教わる「はじめての三崎アワビ」	中村明和	伊方町	5 2
27 日	鬼北キジの調理法講習会	近藤裕昭	松山市	7 4
30 日	さつえい日和 @ 道後公園～スマートフォン・携帯カメラ編～	重岡真美	松山市	1 2
30 日	さつえい日和 @ 道後公園～コンパクトデジカメ・一眼編～	重岡真美	松山市	1 2
30 日	土の中の生きものたち in 西条市市民の森	今川義康	西条市	
30 日	早春のチョウ 観察会 in 西条市市民の森	今川義康	西条市	
31 日	土の中の生きものたち in 新居浜市民の森 (2)	今川義康	新居浜市	
05 日	水生生物調査 in 城川町高川公民館	河野一男	西予市	3 6
06 日	四国西予ジオガイド応援隊「肱川上流域エリア」(1)	高橋 司ほか	西予市	7 8
06 日	四国西予ジオガイド応援隊「肱川上流域エリア」(2)	高橋 司ほか	西予市	7 8
07 日	春を味わう！草だんご作り	渡部 幸	西条市	
07 日	みやくぼ浜のマルシェ&能島の水軍ツアー	田中 謙	今治市	6 6
12 日	こだわりの自然栽培 新宮茶ちゃちゃ♪	大西敬志郎	松山市	
14 日	柳谷トレイルランニング	忠政啓文	久万高原町	2 6
14 日	水族館のお仕事体験シリーズ2：採集の仕事「川のさかなを捕る」	おさかな館スタッフ	松野町	3 2
17 日	ゆるゆる青空教室「竹」～竹取の翁のタケさがし～	井上千春	松山市	1 4
20 日	ワンワン運動会～絆を深めるしつけ体験～	日本ケアドッグ協会	松山市	
20 日	四国西予ジオガイド応援隊「肱川上流域エリア」(3)	高橋 司ほか	西予市	7 8
20 日	四国西予ジオガイド応援隊「肱川上流域エリア」(4)	高橋 司ほか	西予市	7 8
21 日	佐田岬の渡り鳥&蝶ウォッチング	水本孝志	伊方町	
21 日	目に青葉・山ホトトギス・初イワガキ	こもねっと	宇和島市	5 3
26 日	旬野菜を使った簡単料理と健康のお話	門田智子	松山市	6 0
27 日	水の中のギャング！ヤゴ調査隊 @ 渦井川	武智礼央	新居浜市	3 4
27 日	ノンアルコール・ワイン「650」を飲みながら	竹森まりえ	松山市	6 9
29 日	春の野草を食べる会	松井宏光	久万高原町	6 8
04 日	千町の棚田で茶摘み & 茶揉み体験！	藤原昌寛	西条市	3 8
04 日	「天空の棚田」西条市千町の棚田を散策しよう！	山内昭英	西条市	3 8
05 日	チリメンモンスターを探せ in 銅夢にいほま	池田淳子	新居浜市	0 6
10 日	カンタン旬野菜料理と地産地消のすすめ	門田智子	松山市	6 0

監修を終えて

「ワンダーエヒメ」と聞いて、みなさんは何を想像するのだろうか？ 由緒正しく語彙をひもとけば、“wonder”＝驚異・驚嘆、すなわち「驚きいっぱい愛媛県」ということになる。この記録集は、愛媛県が鋭意推進している「生物多様性えひめ戦略」の推進事業の一つとして世に出されたものだ。さらに言うならば、生物多様性の保全管理を進めるための記念すべき第一歩として記されたという意味合いもある。となると、多種多様な生きものたちが繰り広げる「驚異の大自然のスペクタクル」の愛媛県版なのかしら？と思うのだが、本書の中身は決してＴＶ番組「不思議大発見！」という乗りではない。

では、このタイトルは何者なのだろうか？ ワンダーとは、ありふれた日常と非日常性のギャップ（隙間）から生み出される「驚きのエネルギー」ではないかと思う。「愛媛県内なる生物多様性発掘事業」による200数回もの参加型ワークショップ（授業）の仕掛け人たちは、私を含め、地域のよそ者、Ｕターン、Ｉターン、地元、そして多様な職種、趣味、人生の老若男女の多様性に富んでいる。日々暮らしの中で何気なく繰り返されてきたコト・モノが、他者から見て驚嘆に映ることは少なくない。ましてや、外からの眼で見れば、驚嘆の極みだったりするのだろう。一方、地域に根差して淡々と暮らしをつむいできた人々は、意外なことに、よそ者、若者、戻りし者から御高評を受け、驚嘆するのである。

さて、ここまでならば、従来の地元学あたりと変わらないので、オリジナリティーがなく、新規事業というにはあまりに驚きに乏しい。そこで、「生物多様性えひめ戦略」の中に植えつけた「内なる生物多様性」の深化がこの事業のなかで、さらなる驚嘆の和を紡ぐものでなければならない。生物多様性を説明するとき、「多種多様な生物種、本来種が持つ多様な形質（遺伝子）、環境との関係性」などといった馴染みのない生物学の専門用語の羅列で始まるのだが、ここではそうではない。突撃的なワークショップ（授業）の開催により、具体的に生物多様性の実体を発掘してみようというのが本事業の目的である。

「やってみたけど、どうもおかしい？」「おかしいなあー。楽しかったし、おいしかったんだけどな……」、これがじつは後々、「あれはいま問題の外来種だった」「在来^{（しん）}の遺伝子系統ではなかった」「生態系全体にとってどうもマイナスだよなあ」と気づくことも少なくはないだろう。「そうなんよ！ 生物多様性の保全と利用って、実際いつも“なやましい”ことなんですよ」と言われ、当事者、関係者が驚くのも、ワンダーエヒメなのである。非日常性だけでなく、日常性にも驚異・驚嘆の事実が潜んでいるのである。

生物多様性の「多様性」は、「なんでもかんでも」「みんな」と単純に割り切ることではない。そこには、一種、地球、世界、国、地域、家庭というすべての社会次元で、ある種の秩序を創造しながら、すべての違いの共存、「和」の道を探ろうというものであるはずだ。外来種も原産地に居るならば問題はないのであり、本来その地に居た種がそのまま居て利用されるならば問題はないのである。生物多様性の保全にまつわる問題の発生源は、私たち人間であることに間違いはない。

種の違い、遺伝子の違い、生態系の違いが対立せず、共存共栄する一歩になるよう、忌憚ないご意見を歓迎いたします。「そうなのか？」「そうだったのか？」「このままでは……」という、小さな驚嘆と事後の冷静な考察・熟慮・行動が未来の地球、地域をよくするのです。

偶然めぐってきた父和夫の命日にちなんで
日鷹 一雅
（愛媛大学 農学研究科 准教授）

監修を終えて

「ワンダーエヒメプロジェクト」のタイトルはすばらしく、どのワークショップや授業もとても魅力的ですが、本書を読んだだけでは、それぞれの授業の生物多様性からみた意味づけが分かりにくいものもあるため、「自然体験活動」の報告集ではないかと感じる方もおられると思います。

しかし本書は、「日本人がいかに身近な自然を利用してきたか」という視点で見直していただきたいと思います。雑木林や田んぼや畔道や原っぱ、溜池や小川^{（あぜ）}、海浜などいわゆる里山・里地・里海には多様な環境がモザイク状に存在し、それぞれの環境に適応して多くの生きものが生育しています。

私たち日本人は、長い歴史のなかで身近な生きものを日常生活に利用してきました。同時に、人間の捕獲や採取などの攪乱によって、環境の多様性が維持されてきました。つまり、里山・里地・里海の生物多様性は、人間による伝統的な生物の利活用の多様性で確保されてきたとも言えるのです。

ただし、本書には、そのワークショップや授業からいかに生物多様性が展開されたかなど、活動と生物多様性の関連付けの解説が物足りない部分もあり、主たる目的である「生物多様性」に気付かないまま、活動の楽しさだけを感じるだけで終わることになります。

今後、本書で取り上げた各ワークショップや授業がブラッシュアップされ、生物多様性を十分に感じられるすばらしいものとなるよう願っています。

松井 宏光
（松山東雲短期大学 名誉教授）

「ワンダーエヒメプロジェクト」授業は私たちがコーディネートしました！
先生、ご参加 & ご協力いただいたみなさん、どうもありがとうございました。

何も分らないところからスタートでしたが、愛媛を考えている沢山の人の出会いが1年の成果でした！
(東予担当：内田)

長年住んでいながら、全く知らなかった愛媛の魅力に、たくさんのふれることができた1年間でした。ありがとうございます！
(中予担当：内藤)

生物多様性とは、発案者のローゼンによれば Biological diversity - logical=Biodiversity、論理を除いたスローガン。むしろ、人々の暮らしをいかに安定的に持続するかという視点が大切です！
(南予担当：土井)

たくさんの愛媛のすてきな人、自然に出会わせていただきました！まだまだ魅力はいっぱいだよ！
(中予担当：二宮)

愛媛のいいところ、いっぱい見つけました。でも、やっぱり食べることを大事にしたい。これからも追究していきます～！
(南予担当：宮本)

出会いでした！
愛媛の自然、知恵、伝統技術、人の生き様・・・あの世に引越すまでよろしくお願ひします。
(南予担当：山田)

みなさん、お疲れさまでした！！
(事務局：江戸)

